



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 新日本理化株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4406 URL <https://www.nj-chem.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 芳樹  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 埜下 太一 TEL 06-6202-6598  
四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	25,382	9.4	△226	—	261	△63.9	△235	—
2022年3月期第3四半期	23,193	35.3	581	257.3	725	46.8	338	△21.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 326百万円 (△52.4%) 2022年3月期第3四半期 685百万円 (△45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△6.31	—
2022年3月期第3四半期	9.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2023年3月期第3四半期	41,299	17,118	38.9	430.55
2022年3月期	40,086	16,999	39.8	427.44

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 16,052百万円 2022年3月期 15,936百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	2.0	△700	—	△200	—	△700	—	△18.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	37,286,906株	2022年3月期	37,286,906株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,020株	2022年3月期	2,605株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	37,284,125株	2022年3月期3Q	37,284,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ危機の長期化により欧州諸国でのエネルギー供給懸念が継続するなか、中国のゼロコロナ政策による人流抑制や急速なインフレ懸念を背景とした各国の政策金利引き上げなどにより、景気回復に停滞感が見られました。わが国経済においては、感染症対策としての各種制限が緩和され、経済活動の正常化が進んだことから景気は緩やかに回復しました。しかしながら、急激な為替変動やエネルギー価格をはじめとする物価の上昇などから消費の下振れが懸念され、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く環境においては、原材料である原油・油脂相場は下落基調にあったものの、エネルギー価格の高騰が影響し、厳しい事業運営を強いられました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、2021年度よりスタートした中期経営計画に掲げる目標「環境・社会・人(命)に関わる課題に果敢にチャレンジし、価値創造企業を目指す」の達成に向けて取組みを進めております。事業活動における環境負荷を低減させるため、再生可能エネルギーの調達を開始したほか、環境課題へアプローチする分野に開発資源を集中するなど、研究開発プロセスの改革を進めております。2022年6月にはポリオレフィン樹脂の成形サイクルタイム短縮に貢献し省エネルギー効果を得られる新規結晶核剤「R i K A C R Y S T A」を発売したほか、100%バイオマス由来のエステル油など石化由来製品のバイオマス化にも取り組んでおります。しかしながら、業績面におきましては、コスト削減など採算性向上に努めたものの、エネルギーコストが想定以上に高騰したほか、需給バランスの悪化などによる販売数量の伸び悩みも重なり、計画を下回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、253億8千2百万円（前年同四半期比9.4%増）となり、損益面では、営業損失2億2千6百万円（前年同四半期は営業利益5億8千1百万円）、経常利益2億6千1百万円（前年同四半期比63.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億3千5百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益3億3千8百万円）を計上する結果となりました。

主要製品の概況は次のとおりであります。

トイレタリー向け界面活性剤原料は国内アメニティ需要の低迷により低調に推移し、また、繊維油剤原料向けアルコールは中国市場の停滞が続いたことから販売数量が低迷しました。さらに食品・医薬品向け添加剤においても厳しい販売状況となりましたが、原料価格高騰を背景に製品価格水準を高く維持できたことから、売上高は前年を上回りました。

床材や電線被覆材などの建材向け原料である可塑剤製品においては、原料調達面の不安が解消されたものの需要回復の動きは鈍く、前年を下回る販売数量となりました。しかしながら、高騰する原料価格に対応すべく適正な製品価格での販売に努めた結果、売上高は前年を上回りました。

自動車産業向け製品においては、半導体不足に起因する自動車生産台数の伸び悩みを受け、売上高、数量ともに前年を下回りました。

電子材料向け製品においては、中国経済の停滞により同国への輸出が低迷したため、売上高、数量ともに前年を下回りました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前期末比3.0%増となり、金額で12億1千3百万円増加の412億9千9百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が減少したものの現金及び預金、商品及び製品が増加したことにより、前期末比2.9%増、金額で6億1千5百万円増加の219億4千4百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券の評価額が上昇したことなどにより前期末比3.2%増となり、金額で5億9千8百万円増加の193億5千5百万円となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の増加などにより、前期末比8.2%増、金額で11億1千1百万円増加の146億6千1百万円となりました。固定負債は長期借入金を返済したことなどにより、前期末比0.2%減、金額で1千6百万円減少の95億2千万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末比0.7%増、金額で1億1千9百万円増加の171億1千8百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は38.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想及び配当予想については、最近の業績の動向を踏まえ、2022年11月10日に公表した通期の業績予想及び2022年5月12日に公表した配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表した「2023年3月期連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,495	3,736
受取手形及び売掛金	12,168	10,916
商品及び製品	2,137	2,997
仕掛品	1,419	1,745
原材料及び貯蔵品	1,786	2,084
その他	324	464
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	21,329	21,944
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,281	4,281
その他(純額)	5,651	5,425
有形固定資産合計	9,933	9,707
無形固定資産	33	27
投資その他の資産		
投資有価証券	8,096	8,965
その他	695	655
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,790	9,619
固定資産合計	18,757	19,355
資産合計	40,086	41,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,965	7,891
短期借入金	2,226	2,870
1年内返済予定の長期借入金	1,629	2,105
未払法人税等	207	3
賞与引当金	278	91
その他	1,242	1,698
流動負債合計	13,549	14,661
固定負債		
長期借入金	6,100	5,799
役員退職慰労引当金	83	85
退職給付に係る負債	1,926	1,874
その他	1,426	1,760
固定負債合計	9,536	9,520
負債合計	23,086	24,181
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	4,427	4,005
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,163	13,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,063	2,308
繰延ヘッジ損益	—	△12
為替換算調整勘定	△297	14
退職給付に係る調整累計額	7	△0
その他の包括利益累計額合計	1,773	2,311
非支配株主持分	1,062	1,065
純資産合計	16,999	17,118
負債純資産合計	40,086	41,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	23,193	25,382
売上原価	19,145	21,939
売上総利益	4,048	3,442
販売費及び一般管理費	3,466	3,669
営業利益又は営業損失(△)	581	△226
営業外収益		
受取配当金	134	149
持分法による投資利益	94	358
為替差益	4	—
その他	24	66
営業外収益合計	258	574
営業外費用		
支払利息	32	38
為替差損	—	19
シンジケートローン手数料	43	0
研究所移転費用	21	—
その他	17	26
営業外費用合計	115	85
経常利益	725	261
特別損失		
固定資産除却損	8	—
投資有価証券評価損	—	21
減損損失	4	170
投資有価証券売却損	195	—
特別損失合計	207	192
税金等調整前四半期純利益	517	69
法人税、住民税及び事業税	111	45
法人税等調整額	13	235
法人税等合計	124	280
四半期純利益又は四半期純損失(△)	392	△211
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	23
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	338	△235



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	392	△211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	246
繰延ヘッジ損益	—	△12
為替換算調整勘定	△0	7
退職給付に係る調整額	5	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	186	304
その他の包括利益合計	292	537
四半期包括利益	685	326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	631	302
非支配株主に係る四半期包括利益	53	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。